※令和４年度以降入学生用

学校番号	1204

令和５年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	未来へつなぐ　家庭基礎３６５　（教育図書）						
副教材等	LIFE　おとなガイド　（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭生活にかかわる基礎的・基本的な知識や技能を習得する科目です。
・生活のさまざまな現象や課題について、理解を深め知識を身につけましょう。
・家庭科で学んだ知識や技能を生かして、家庭生活の充実をはかる力と実践的な態度を養いましょう。
・日々の授業を大切にし、提出物等の期限はしっかり守りましょう。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得させ、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

【知識及び技能】
・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】
・生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】
・様々な人々と協力し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭の生活を創造し、実践しようとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生涯の生活設計	人の一生 人生の課題	a:生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 b:生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、適切に判断し表現する力を身に付けている。 c:青年期の自立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	ワークシート	授業観察
	青年期の自立と家族・家庭	5つの自立 家族と家庭 法律における家族 現在の家族を取り巻く現状	a:家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭　と社会との関わりについて理解を深めている。 b:現代の家族の特徴や家庭の機能の変化などについて考え、課題を見いだし、その解決を目指して考え、その方法を表現する力を身に付けている。 c:家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート	授業観察
	住生活と住環境	住まいの空間と役割 安全･快適に住まう要素 住まいの課題と未来の暮らし	a:住居の機能性や快適性について理解しているとともに、住居　の計画や選択に必要な情報を 収集・整理する技術を身に付けている。 b:住生活全般について課題を見いだし、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	ワークシート	授業観察
	生活における経済の計画	家計と社会のかかわり	a:家計の構造について理解しているとともに、生活における経済と社会との関わりについて理解を深めている。 b:家庭の経済の計画・管理、生活設計について考え、適切に判断し表現する力を身に付けている。 c:生活における経済の計画について適切に判断し、生活の充実向上を図るため実践しようとしている。	定期考査	ワークシート	授業観察

※令和４年度以降入学生用

2学期	消費生活と意思決定	私たちの消費生活 契約の重要性 消費者信用のしくみ 消費者問題の現状と課題 消費者の権利と責任	a:消費生活の現状と消費者の権利について理解しているとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。 b:社会の変化に伴う消費生活の課題について具体的な事例を調査・研究したり発表することができる。 c:消費者として主体的に判断できるようになるために、適切な意思決定や消費行動について考えようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート	授業観察
	子どもの生活と保育	子どもの成長の特徴 親の役割 生活習慣と子どもの生活 これからの子育て	a:乳幼児期の心身の発達と生活、家族・地域・社会の果たす役割を理解しているとともに、子どもと適切に関わり、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 b:子どもの発達と保育に、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決を目指して考え、その方法を表現する力を身に付けている。 c:子どもの生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭の生活の充実向上を図るため実践しようとしている。	定期考査 作品	ワークシート レポート	授業観察 レポート
	食生活と健康	食生活と健康 ライフステージと食生活	a:食事と健康のかかわりや、人の一生における食事の役割について理解している。 b:現代の食生活の問題点について思考を深め、その解決を目指して考え、適切に判断し課題を解決する力を身に付けている c:食生活と健康について、課題に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るため実践しようとしている。	定期考査 実技 テスト	ワークシート レポート	授業観察 レポート
		食事と栄養・食品 食品の衛生と安全性 調理の基本 調理実習 食生活と環境	a:安全な食生活を主体的に営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生などについての知識を身に付けているとともに、目的に応じた調理に必要な技術を身に付けている。 b:栄養的にバランスのとれた食事について、日常の食事と関連付けて課題を見いだし、その解決を目指して考え、適切に判断し課題を解決する力を身に付けている。 c:自分や家庭の栄養と食事について、各自の食生活を振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るため実践しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

３学期	衣生活と健康	衣服の役割	a:ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解している。 b:衣生活と健康について、課題を設定し、解決策を模索し、適切に判断し課題を解決する力を身に付けている。 c:被服の機能や役割に関心を持ち、適切に判断して生活の充実向上を図るため実践しようとしている。	定期考査 実技テスト 作品	ワークシート レポート 作品	授業観察 レポート
		衣服の材料・つくり 衣服の計画・管理 製作実習	a:被服の機能と着装、被服材料、被服管理などについて理解しているとともに、健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画・整理などの技術を身に付けている。 b:用途や着用目的に合った被服材料の選択と被服管理について具体的に考え、適切に判断し表現する力を身に付けている。 c:被服の手入れや補修の仕方について関心を持ち、生活の充実向上を図るため実践しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度